

がつ にち  
7月7日

## テーマ：「エレミヤの召命」

聖書箇所：エレミヤ書1章4節～10節

### ◆今日のみことば

そのとき、主は御手を伸ばして、私の口に触れ、主は私に仰せられた。「今、わたしのことばをあなたの口に授けた。エレミヤ書1章9節

### ◆メッセージ

神さまは、いつの時代にも、神さまのために必要な働きをする人を備えています。エルサレムの近くのアナトテという町に、祭司ヒルキヤの子として、ひとりの男子が生まれました。彼の名前は、エレミヤさんです。その頃のユダヤの王さまは、長い間、神さまに従わないで悪い政治を行っていました。そんな中で、エレミヤさんは子ども時代を過ごしました。この悪い時代にも、神さまのみことばを伝える人が必要でした。神さまは、人々を愛していて、神さまのもとに戻ってくることを待っておられるからです。

やがてエレミヤさんは青年になりました。ある日のこと、神さまから、「わたしは、あなたをずっと知っているよ。お母さんのお腹であなたが形造る前から、あなたが生まれる前から。あなたのことを国々への預言者（神さまのことばを預かって、伝える人）と決めているよ。」との言葉がありました。エレミヤさんは戸惑いました。え～、そんなこと言われても。何を話したらいいんだろう？こんな悪い時代なのに、みんな僕の言うことを聞いてくれるかな。だから、答えました。「私はまだ若くて、どう語っていいかわかりません」と。神さまのみことばに、「はい。」と従うことは大切です。でも、従うことに、不安だなあ、困ったなあと思うことがあったら、神さまに素直に話していいですよ。神さまは、「若くても、大丈夫！人を恐れなくて、わたしに従いなさい。わたしが、話すことばも教えるよ。わたしはあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ」とエレミヤさんを励ましてくださいました。

神さまは、エレミヤさんに、預言者としてのお仕事をするためのすべての必要なことを備えてくださいました。「わたしのことばをあなたの口に授けた」と、神さまの代わりに王さまや人々の前で語る言葉の一つ一つがエレミヤさんに与えられたのでした。

私たちが生きているこの時代にも、神さまのみことばが必要です。神さまが一人一人を用いようと生まれさせてくださいました。神さまがあなたに望んでおられることを聞きましょう。そして、従いましょう。神さまが必要なことを備えてくださいます。

### ◆お祈り

「神さまの望んでおられることを喜んで行うために、すべての必要が備えられますように。」

(のびどめキリスト教会牧師 西澤廣美)

